

**甲南大学文学部人間科学科の収容定員変更にかかる
学則の変更の趣旨等を記載した書類の目次**

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	… p. 1
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	… p. 2
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	… p. 3

**甲南大学文学部人間科学科の収容定員変更にかかる
学則の変更の趣旨等を記載した書類**

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

文学部人間科学科の入学定員は、平成 31（2019）年度より編入学定員 10 名（収容定員 20 名）を解消し、1 年次入学定員 90 名を 5 名増員し 95 名に変更する。文学部人間科学科全体の収容定員は、下表のとおり、学年進行の 3 年間は一時的に減少するものの、完成年度以降は現行と同数となる。したがって、この入学定員および編入学定員の変更に伴う収容定員の変更は生じない。

【現行】平成 30（2018）年度学則

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70		280
	英語英米文学科	90		360
	社会学科	90		360
	人間科学科	90	10	380
	歴史文化学科	60		240
文学部合計		400	10	1,620
大 学 合 計		1,935	10	7,760



【変更案】平成 31(2019)年度学則

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70	280
	英語英米文学科	90	360
	社会学科	90	360
	人間科学科	95	380
	歴史文化学科	60	240
文学部合計		405	1,620
大 学 合 計		1,940	7,760

【収容定員の変化】

入学年度/ 学年	平成 30 年 (2018 年)	平成 31 年 (2019 年)	平成 32 年 (2020 年)	平成 33 年 (2021 年)	平成 34 年 (2022 年)
1 年生	90	95	95	95	95
2 年生	90	90	95	95	95
3 年生	90	90	90	95	95
4 年生	90	90	90	90	95
3 年生	10	0	0	0	0
4 年生	10	10	0	0	0
人間科学科収容定員	380	375	370	375	380
文学部収容定員	1,620	1,615	1,610	1,615	1,620
対 2017 年度増減数(※)	0	▲5	▲10	▲5	0

※収容定員は一時的に減少するため学則の収容定員と差が発生するが、完成年度以降は同数になるため収容定員の変更は生じない。

イ. 学則変更(収容定員変更)の必要性

本学文学部人間科学科は、平成 8 (1996) 年 4 月に開設された。人間科学科開設当時は阪神・淡路大震災の翌年であり、かつ「いじめ」の問題も社会問題化していたことから、心理学的援助を行う専門家が不足しており、心理専門職へのニーズが高まっていた時期であった。

その期待に応えるべく、臨床心理学に関心を持つ社会人をはじめ幅広い年齢層を対象とし、大学院教育までもを含めてすぐれた心理士を育成することが求められていたことから、開設時には編入学定員 10 名(収容定員 20 名)を設定した。

このたび、平成 30 (2018) 年度より学士課程の心理学にかかる国家資格として公認心理師制度の施行が決定したことにより、本学科は公認心理師資格制度に対応するため、平成 30 (2018) 年度からは 4 年間の学士課程において公認心理師資格を取得できる基礎となるカリキュラムの編成を行うことになった。一方、この運営に注力するため、本学大学院人文科学研究科人間科学専攻臨床心理専修は、臨床心理士養成大学院第一種指定校として行ってきた臨床心理士養成を、平成 30 (2018) 年度入学生(平成 32 (2020) 年 3 月修了予定)をもって停止することを決定した。

また、平成 29 (2017) 年 5 月には厚生労働省における公認心理師カリキュラム等検討会より公認心理師資格取得条件として 25 科目の必修化が示された。このガイドラインに沿ってカリキュラムを検討する過程の中で、公認心理師資格に対応するカリキュラムでは、編入学生が 2 年間で資格取得に必要な単位を修得することは事実上難しいと判断した。

これらの経過を踏まえて、公認心理師資格が国家資格となることで心理専門職に対する社会的関心が一層高まりつつある状況のもとで、「『人間と心』を深く追求

するという方法により、社会が持つ複雑多岐にわたる課題の解決に寄与できる人材を社会に提供する」という人間科学科設立時の趣旨を実現するために、心理学にかかる優れた人材を育成する国家資格制度に則した4年間のカリキュラムを編成したうえで、同学科の編入学定員10名(収容定員20名)を解消し、入学定員を5名増員し95名とする。

なお、同学科の収容定員は一時的に減少するが、完成年度以降は現行と同数になるため収容定員の変更は生じない。

ウ. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

新たな国家資格である公認心理師カリキュラムに対応しながらも、人間科学科の卒業認定・学位授与の方針(参考資料:別紙1)に基づき心理学と哲学・芸術学等にまたがる広い視野を持った学生の育成をめざし、融合の特色がわかりやすい教育プログラムとなるよう整備する。

公認心理師養成に対応したカリキュラムの再編については、厚生労働省に設置された公認心理師カリキュラム等検討会によって示されるガイドラインに即し、1年次から4年次までを通して、心理職に就くための基礎的知識から実践的・応用的な知識と技能を段階的に修得できる科目編成を構築している。

また、新カリキュラムでは新たに《融合科目》群を設け、《必修科目》《融合科目》《基礎科目》《展開科目》《関連科目》《資格科目》からなる6群構成とし、〈心理学と哲学・芸術学の融合による人間探求〉という学科のコンセプトと学びのプロセスが明瞭になるように配置する。さらに、各分野の科目をより体系的に配置し、かつ現代社会の潮流やニーズに沿うよう、体系性・現代性・領域融合性の観点から15科目を廃止し、新たに15科目を設けるとともに、46科目を名称変更する(参考資料:別紙2)。

なお、このたびのカリキュラム変更は学科内カリキュラムの変更であるため、基礎共通科目への影響は及ばない。また、人間科学科が従来から取り組んでいる少人数教育の指導方針にも変更は生じない。

教員組織については、上述のカリキュラムの変更に伴い、年次進行上一時的に科目数の増加は見込まれるが、完成年度には科目数に影響を及ぼすことが無い変更であり、かつ新しいカリキュラムにおいても従来の学問分野を大きく変えず、既存の教員で対応可能であるため、教員組織の変更は生じない。また、編入学定員の廃止と入学定員の増員を行っても、前述のとおり収容定員の増加は生じないため、教室や実験実習設備等が不足することはない。

以上

別紙1 甲南大学文学部人間科学科 卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。文学部の教育基本方針のもと、卒業必要単位数 130 単位以上（基礎共通科目又は国際言語文化科目 18 単位 外国語科目 8 単位 保健体育科目 2 単位 専門教育科目 102 単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(文学)又は学士(社会学)の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 世界に通用する国際教養力を有します。
- (5) 各専門分野（心理学分野、哲学・芸術学分野）において研究、実践、表現等を行う能力を有しています。
- (6) 自らの考えを適切な手段によって表現し、他者に伝える力を有しています。
- (7) 的確な問いをたてて、時代性・地域性をふまえて問題解決を図る意志と能力を有しています。

別紙2 2018年度文学部人間科学科カリキュラム変更内容一覧

授業科目名		単位数	配当年次	担当教員区分	職位	変更内容	旧科目名称	
必修科目	人間科学入門	2	1	専任	教授	新設		
	人間科学基礎演習I	2	1	専任	教授	—		
	人間科学基礎演習II	2	2	専任	教授	—		
	人間科学基礎演習III	2	2	休講	休講	名称変更・配当年次の変更	イメージ・トレーニング II	
	演習I	4	3	専任	教授	—		
	演習II	4	4	専任	教授	—		
	卒業研究	8	4	専任	教授	—		
融合科目	融合フォーラム(死生学)	2	1	専任	准教授	名称変更	死生学	
	融合フォーラム(ジェンダー)	2	2	専任	教授	名称変更	ジェンダー論	
	融合フォーラム(文化と自然)	2	2	専任	教授	名称変更	環境・芸術文化論	
	融合フォーラム(ファンタジー)	2	3・4	専任	准教授	名称変更	ファンタジー研究	
	西洋古典文化論	2	1	非常勤	非常勤	新設		
	西洋人間科学思想入門I	2	1	非常勤	非常勤	新設		
	西洋人間科学思想入門II	2	1	休講	休講	新設		
	アート・ワークショップ入門	2	1	専任	准教授	名称変更	イメージ・トレーニング I	
	心理学と哲学	2	2	休講	休講	新設		
	心理学と芸術	2	2	休講	休講	新設		
	環境学入門	2	2	専任	教授	名称変更	環境学基礎論 I	
	身体論	2	2	非常勤	非常勤	—		
	トラウマ学	2	2	専任	教授	—		
	芸術療法	2	3・4	非常勤	非常勤	—		
	防災心理学	2	3・4	非常勤	非常勤	—		
基礎科目	心理学概論	2	1	専任	教授	新設		
	こころの科学	2	1	非常勤	非常勤	新設		
	発達心理学	2	1	専任	教授	名称変更	発達心理学 I	
	学習・言語心理学	2	1	非常勤	非常勤	名称変更	行動科学	
	哲学入門	2	1	非常勤	非常勤	新設		
	倫理思想基礎論I	2	1	専任	准教授	—		
	倫理思想基礎論II	2	1	専任	准教授	—		
	西洋美術史	2	1	専任	教授	名称変更	美術史 I	
	日本美術史	2	1	非常勤	非常勤	名称変更	美術史 II	
	文学思想史	2	1	専任	教授	—		
	平和学	2	2	休講	休講	新設		
	芸術社会史	2	2	専任	准教授	名称変更	イメージ論	
	心理学史I	2	3	専任	教授	—		
	心理学史II	2	3	専任	教授	—		
展開科目	分野共通	欧文講読基礎I	2	2	専任	教授	科目分割・名称変更	「外国文献基礎演習」
		欧文講読基礎II	2	2	専任	准教授	科目分割・名称変更	「外国文献基礎演習」
		欧文講読I	2	3・4	専任	教授	科目分割・名称変更	「外国文献研究I」
		欧文講読II	2	3・4	専任	教授	科目分割・名称変更	「外国文献研究I」
		欧文講読III	2	3・4	専任	准教授	科目分割・名称変更	「外国文献研究II」
		欧文講読IV	2	3・4	非常勤	非常勤	科目分割・名称変更	「外国文献研究II」
		演習III	4	3	専任	教授	—	

授業科目名		単位数	配当年次	担当教員区分	職位	変更内容	旧科目名称	
展開科目	哲学思想分野	現代思想	2	2	休講	休講	—	
		環境学	2	2	専任	教授	名称変更	環境学基礎論Ⅱ
		宗教思想史	2	2	休講	休講	新設	
		日本哲学史	2	2	休講	休講	新設	
		メディア哲学	2	2	専任	准教授	名称変更	言語イメージ論
		ヒューマンライツ	2	2	休講	休講	新設	
		西洋史概説Ⅰ	2	2	専任	教授	—	
		西洋史概説Ⅱ	2	2	専任	教授	—	
		西洋社会史	2	2	非常勤	非常勤	新規取り込み	
		哲学思想史	2	3	専任	教授	—	
		比較思想史	2	3・4	専任	教授	—	
		人間環境論Ⅰ	2	3	非常勤	非常勤	—	
		人間環境論Ⅱ	2	3	非常勤	非常勤	—	
		倫理思想史	2	3	非常勤	非常勤	—	
展開科目	芸術学分野	サウンドスケープ研究	2	1	非常勤	非常勤	名称変更	サウンド・スケープ論
		視覚メディア論	2	1	非常勤	非常勤	名称変更	視覚メディア表現論
		マンガ・アニメ史	2	1	非常勤	非常勤	新設	
		モダンアート研究	2	2	専任	教授	名称変更・配当年次の変更	現代芸術論Ⅰ
		映像表現研究	2	2	非常勤	非常勤	名称変更	作品表現研究Ⅰ
		サブカルチャー研究	2	2	専任	准教授	名称変更	作品研究
		芸術表象論	2	2	専任	教授	名称変更	イメージと神話
		アート・ワークショップ実践	2	2	非常勤	非常勤	名称変更	イメージ表現研究
		現代芸術研究	2	3	専任	教授	名称変更・配当年次の変更	現代芸術論Ⅱ
		身体表現研究	2	3・4	非常勤	非常勤	—	
		現代芸術ワークショップ	2	3	専任	准教授	名称変更	作品表現研究Ⅱ
		デザイン・ワークショップ入門	2	3	専任	准教授	名称変更	イメージ情報処理
		デザイン・ワークショップ実践	2	3	専任	准教授	名称変更	イメージ情報編集
	言語表現論	2	3・4	専任	准教授	名称変更	言語表現研究	
	心理学分野	心理学統計法	2	1	専任	講師	名称変更・配当年次の変更	心理学統計基礎論
		発達臨床心理学	2	1	専任	教授	名称変更	発達心理学Ⅱ
		心理学実験実習	2	1	専任	教授	名称変更	心理学実習Ⅱ
		心理療法	2	2	専任	准教授	—	
		力動的心理学	2	2	専任	教授	—	
		臨床心理学概論	2	2	専任	教授	名称変更	臨床心理学Ⅰ
社会・集団・家族心理学		2	2	非常勤	非常勤	名称変更	対人社会心理学	
心理検査法		2	2	専任	教授	名称変更	心理アセスメントⅠ	
心理学研究法		2	2	専任	教授	—		
教育・学校心理学		2	2	非常勤	非常勤	名称変更	教育心理学基礎論	
精神疾患とその治療		2	2	非常勤	非常勤	名称変更	精神医学基礎論	
神経・生理心理学		2	2	専任	教授	名称変更	脳・神経科学	
心理的アセスメント		2	2	専任	准教授	名称変更	心理アセスメントⅡ	
心理尺度構成法実習		2	3	休講	休講	新設		
心理調査計画法		2	3	専任	教授	名称変更	心理アセスメントⅢ	
心理地域援助		4	3・4	専任	教授	名称変更	心理臨床研究	
知覚・認知心理学		2	3・4	専任	教授	名称変更	認知心理学	
健康・医療心理学	2	3・4	専任	教授	名称変更	心身論研究		

授業科目名		単位数	配当年次	担当教員区分	職位	変更内容	旧科目名称	
関連科目	日本文学史II a	2	2	専任	教授	新規取り込み		
	日本文学史II b	2	2	非常勤	非常勤	新規取り込み		
	NPO/NGO論	2	2	専任	教授	—		
	メディア文化論	2	2	非常勤	非常勤	—		
	地域社会論	2	2	専任	教授	—		
	社会心理学	2	2	専任	教授	—		
	社会意識論	2	2	専任	教授	—		
	現代史I	2	2	非常勤	非常勤	新規取り込み		
	現代史II	2	2	専任	教授	新規取り込み		
	比較文学特殊講義	2	3	専任	教授	新規取り込み		
	アメリカ文学思潮史I	2	3	専任	講師	新規取り込み		
	アメリカ文学思潮史II	2	3	専任	講師	新規取り込み		
	イギリス文学思潮史I	2	3	専任	准教授	新規取り込み		
	イギリス文学思潮史II	2	3	専任	准教授	新規取り込み		
	ソーシャルキャピタル論	2	3	専任	教授	新規取り込み		
	西洋史研究I	2	3	非常勤	非常勤	新規取り込み		
西洋史研究II	2	3	専任	教授	新規取り込み			
資格科目	博物館学芸員資格科目	生涯学習概論	2	1	非常勤	非常勤	—	
		博物館概論	2	1	専任	准教授	—	
		博物館教育論	2	1	専任	教授	—	
		考古学I	2	1	非常勤	非常勤	—	
		考古学II	2	1	非常勤	非常勤	—	
		歴史と美術	2	2	非常勤	非常勤	—	
		博物館経営論	2	2	非常勤	非常勤	—	
		博物館資料論	2	2	専任	教授	—	
		博物館実習I	1	2	専任	准教授	—	
		民俗学の諸問題	4	2	専任	教授	—	
		環境生物学	2	2	専任	教授	—	
		生態学	2	2	専任	講師	—	
		博物館展示論	2	3	非常勤	非常勤	—	
		博物館資料保存論	2	3	非常勤	非常勤	—	
		博物館情報・メディア論	2	3	非常勤	非常勤	—	
		博物館実習II	1	3	専任	准教授	—	
	博物館実習III	1	4	専任	准教授	—		
	教職科目	IT応用	2	1	専任	教授	—	
		政治学入門	2	1	専任	教授	—	
		社会人間学	2	2	専任	教授	—	
		社会学概論	2	2	専任	教授	—	
		文化人類学	2	2	専任	教授	—	
		多文化共生論	2	2	専任	教授	—	
		メディア研究	2	2	非常勤	非常勤	新規取り込み	
		コミュニケーション研究	2	2	非常勤	非常勤	新規取り込み	
		政治学原論	2	2	非常勤	非常勤	—	
		法律学概論	2	2	専任	教授	—	
		アジア史概説I	2	2	専任	教授	—	
		アジア史概説II	2	2	専任	教授	—	
人文地理I		2	2	専任	教授	—		
人文地理II	2	2	専任	教授	—			
地誌I	2	2	専任	教授	新規取り込み			
地誌II	2	2	専任	教授	新規取り込み			
日本史概説I	2	2	専任	教授	—			
日本史概説II	2	2	専任	教授	—			
自然地理学	2	2	非常勤	非常勤	—			

※1 「新規取り込み」:他学部もしくは他学科の科目を専門科目表に取り入れている。

※2 「—」は「変更なし」

【廃止科目】

授業科目名	単位数	配当年次			変更内容	—
哲学思想基礎論I	2	1			科目の廃止	
哲学思想基礎論II	2	1			科目の廃止	
心理学基礎論I	2	1			科目の廃止	
心理学基礎論II	2	1			科目の廃止	
芸術思想史	2	1			科目の廃止	
宗教論I	2	2			科目の廃止	
宗教論II	2	2			科目の廃止	
国内環境教育ネットワーク	2	2			科目の廃止	
国際環境教育ネットワーク	2	2			科目の廃止	
東洋哲学I	2	2			科目の廃止	
東洋哲学II	2	2			科目の廃止	
環境教育学	2	2			科目の廃止	
言語論	2	2			科目の廃止	
心理学実習I	2	1			科目の廃止	
臨床心理学II	2	2			科目の廃止	